

BOOK REVIEW

関谷春雄『年輪』 2008年

かつて「宮尾すすむのああ日本の社長」（テレビ朝日系）という番組に登場した、秋田の食品スーパー「せきや商店」の創業社長のファミリーヒストリーである。

著者は郊外の大型店や近隣に進出した大手スーパーに対し、自ら陣頭に立ち、鮮魚を主力とした生鮮品や独自の惣菜を販売しながら固定客を増やし「秋田のせきや」の名声を確立した。加えて、秋田市郊外で天然温泉（貝の沢温泉：2017年改装オープン）を掘り当て、温泉旅館をも創業した。本書は事業に対する著者の情熱が行間にほとばしる。

著者は経営方針である「信用は無限の資本」のほか、「神仏を粗末にするなかれ」という人生訓の実践者でもあった。貝の沢温泉の周辺には、森林好きの筆者が自ら整備した大仏、七福神、十二支観音、三十三観音巡りの散策路（ミニ巡礼路）がある。漢詩、百人一首、俳句に親しみ、万葉画の絵筆まで振った教養人の思いに触れるため、四季折々の自然豊かな貝の沢を是非訪れて頂きたい。



☆貝の沢のミニ巡礼マップ



☆著者手製の扇子と著書